

Clavis

電気錠システム

Tebra CONNECT 対応

Tebra A CONNECT

取扱説明書



■オプション種類

	操作電源盤
	警備連動機能

※ お客様のご住居に設定されている方のみ、お読みください。

保存版

- このたびは当社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用前に取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。
- 製品を末永く安全にお使いいただくために、「お使いになる前に」を必ずお読みください。
- 取扱説明書はいつでもお読みになれるように、大切に保管してください。

目次

お使いになる前に

安全上のご注意	1
電気錠システムの取り扱い	1
カードキーの取り扱い	3
錠前の一般的な取り扱い	3
2 ロックセキュリティ機能	4
ハンズフリーキーのスリープ機能	4
盗難・悪用防止のために	5
お手入れについて	5
各部の名称	6

使用方法

ハンズフリーキーについて	8
ハンズフリー操作による施錠／解錠	9
非接触キーについて	10
非接触キーによる施錠／解錠	11
認証キーの登録方法	12
認証キーの抹消方法	15

オプション

操作電源盤について	16
警備連動機能について	17

お困りのときは




ハンズフリーキーの電池切れ警告について	19
認証キーを紛失した場合	20
停電で作動しない場合	20
故障かな？とお考えになる前に	21
仕様	25
保証書	26

安全上のご注意

ここでは次の説明をしています。ご使用前に必ずお読みください。


- 人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただきたいこと
- 電気錠システム特有の注意事項



■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



 危険	「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「傷害を負ったり財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

お使いになる前に

電気錠システムの取り扱い

 危険	<p>植込み型医療機器（心臓ペースメーカーなど）を装着されている方が使用する場合は、リーダ（6ページ）から植込み型医療機器の装着部位を22cm以上離して使用してください。</p> <p>また、電波による医療用電気機器への影響については、担当医師や医療用電気機器製造業者などにご確認ください。</p>
--	---

 警告	<ul style="list-style-type: none">● 精密な電子部品などを使っていますので分解や改造をしたり、強い衝撃を与えないでください。 感電や故障の原因となります。また、分解・改造した物は保証対象外となります。● 認証キー（7ページ）を水に濡らしたり、濡れた手で扱わないでください。 感電や故障の原因となります。● 散水による水洗いは避けてください。 また、雨露の直接かからない場所でお使いください。 故障の原因となります。	
--	--	---

 注意	<ul style="list-style-type: none">● 作動中（サムターンの回転中）およびブザーが鳴っている間は、ハンドル・サムターンを操作しないでください。 作動完了前（ブザーが鳴り終わる前）にハンドル・サムターンを操作すると故障の原因となる場合があります。	
--	--	--

電気錠システムの取り扱い（続き）

● 複数の認証キーを同時に使用すると、作動・反応が遅くなったり、作動しない場合があります。

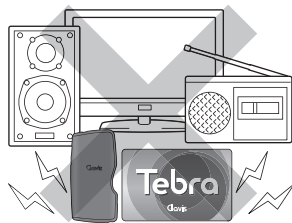
● 高温を避けて保管してください。

認証キーの変形、破損、読み取り不良の原因となります。車の中に長時間放置したり、車のダッシュボードなど、直射日光下で高温になるような場所に認証キーを置かないでください。

● 認証キーを電化製品の近くに放置したり、磁石（磁性のある物を含む）に近づけないようにしてください。読み取り不良や著しい電池消耗の原因となります。

例：影響のある主な電化製品＜常時 1 m以上離すのが望ましいもの＞

テレビ、ラジオ、スピーカー、パソコン、電磁調理器、電気スタンド、充電中のコードレス電話機および携帯電話、医療用電気機器など



● 停電時は使用できません。停電時は手動操作でロックを施錠／解錠してください。（20 ページ）

● 温泉地など特殊ガス発生地域、浴室などの多湿の場所では使用しないでください。故障の原因となります。

● 電池切れ警告が現れなくても、ハンズフリーキーは 2 年ごとに新しい電池と交換してください。（19 ページ）

- ・ 電池は指定の電池をご使用ください。
- ・ 電池の液漏れや腐食により故障の原因となる場合があります。
- ・ 電池の消耗時には、作動範囲が狭くなる場合があります。

● 玄関ドア周辺の電波環境（各種電気機器・ノイズなど）により、ハンズフリーキーの作動範囲が変わる場合があります。

ハンズフリーキーを携帯電話などと一緒に携帯しているときやハンズフリーキーが金属製のものに覆われたりしているときは、正常に作動しないことがあります。

● ハンズフリーキーが完全に静止していると、スリープ機能により施錠／解錠ができなくなります。（4 ページ）

少し揺らしながらご使用ください。

● 航空機にハンズフリーキーを持ち込む場合は、航空機内でハンズフリーキーのボタンを押さないでください。また、カバンなどに保管する場合でも、簡単にボタンが押されないように保管してください。

ボタンが押されると電波が発信され、航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。

● ドアが開いた状態でも施錠／解錠操作が可能ですが、ドアを開けたまま施錠／解錠操作しないでください。

施錠状態でドアを閉めるとドア枠を傷付けるおそれがあります。

⚠ 注意

非接触キー（カード）の取り扱い



注意

カードを折り曲げたり、擦ったり、また強い衝撃を与えないように保管・携帯してください。

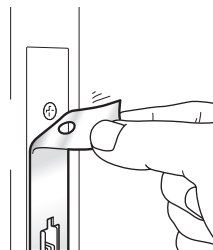
カードの破損や読み取り不良の原因となります。

錠前の一般的な取り扱い



注意

- キーによる操作を長期間行わない場合、ホコリ等の影響でシリンダーの作動が悪くなる場合があります。1か月に2～3回程度、キーによる操作を行ってください。
万が一作動が悪くなっている場合は6ページに掲載されております「お手入れについて」をご参照ください。
- 鍵穴に異物（針金やマッチ棒など）を入れないでください。
異物が詰まるとキーの操作ができなくなります。
- 錠のフロントプレートやストライク表面に保護シールが付いている場合は、必ずはがしてください。
そのまま放置すると、保護シールについている糊などの影響でサビが発生したり変色することがあります。
- コピーしたキーは使用しないでください。
キーの抜き差しや回転操作が悪くなり、シリンダーに悪影響をおよぼすおそれがあります。キーの追加購入については、サービス代行店までお問い合わせください。
- 施錠したときはハンドルを操作して確実に錠がかかったことを確認してください。
- 経年劣化により戸先の垂れ下がり、ソリ、曲がり、歪みなどが生じて枠と接触し、錠がスムーズに動かない場合があります。
ドア全体の修理が必要となりますので、速やかに建築物の管理責任者・管理会社、施工業者または建具メーカーに連絡してください。
- 換気扇などの機械換気を行ったまま外出される場合は、換気口を必ず開けてください。
開けていないと、室内の圧力差によって玄関ドアが室内側に引っ張られるため、認証キーによる施錠／解錠ができなくなることがあります。
- Tebra キーのアナログキーを取り出すとき・もどすときは必ず鍵操作ボタンを押してください。（7ページ）
無理に取り出し・もどす操作を行うと、破損の原因となります。



2 ロックセキュリティ機能

以下の機能はピッキングなどによる不正解錠を完全に防止するものではありません。
万が一の場合の保証はございませんので、ご了承ください。

上下運動 / 子どもの閉じ込め防止機能

解錠状態時、上側のロックをキーまたはサムターンで手動施錠すると、下側のロックも連動し施錠されます。

施錠状態時、上側のサムターンで手動解錠すると、Tebra キーで認証をした場合のみ、下側のロックも連動し解錠されます。

- 次の場合は、連動して施錠されません。
 - ・ 下側のロックをキーまたはサムターンで手動施錠した場合
 - ・ 停電時
- 施解錠操作を素早く繰り返すと連動して施錠されない場合があります。間隔をあけてから、操作してください。

ハンズフリーキーのスリープ機能

ハンズフリーキーを6秒以上、静止状態で保持すると、電池の消耗を防ぐためにスリープ機能が働きます。

- スリープ機能が働いたハンズフリーキーは、作動範囲内であってもハンズフリー操作ができなくなります。

スリープ機能の解除

ハンズフリーキーを少し揺らしてください。



盗難・悪用防止のために

- 施錠忘れによる盗難を防ぐため、施錠の確認は必ず行ってください。
- 認証キーまたはキーには、使用場所が分かる表示は付けないでください。紛失したときに悪用されるおそれがあります。
- 普段お使いにならない認証キーまたはキーは、使用時以外、大切に保管してください。
- Tebra タグ / TL タグ / TF カード / TL カードをご使用の方は、機器の故障、停電などに備え、必ずキーを持参してください。

お手入れについて

長期間、清掃しないままにしておくと、表面に付着した汚れはシミや腐食の原因となります。汚れが軽いうちに清掃してください。

- 清掃は少なくとも月に1～2回程度、実施してください。
- 特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、こまめにお手入れをしてください。

お手入れ方法

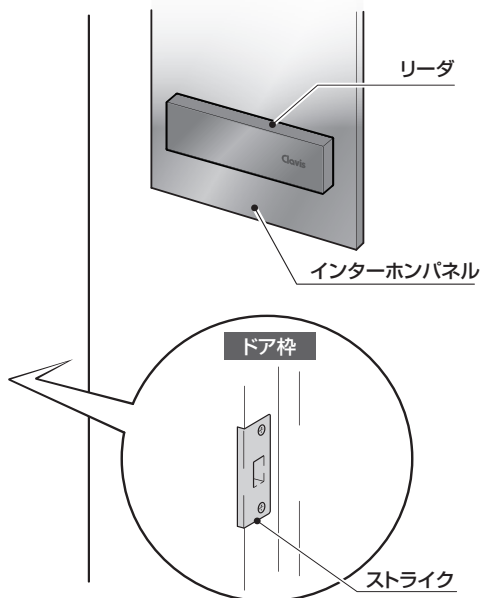
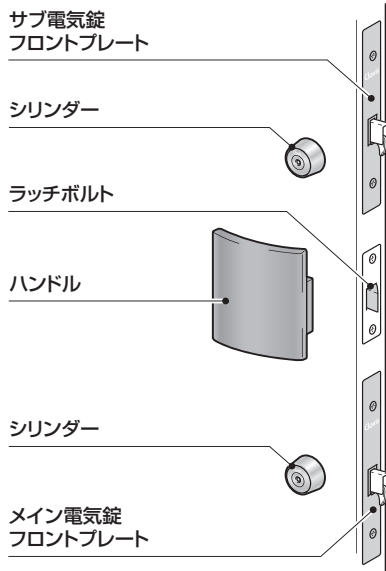
製品の損傷、サビ、腐食、変色などを防止するため、次の方法で実施してください。

- 1 柔らかい布でやさしく乾拭きしてください。**
強くこすらないでください。
- 2 落ちにくい汚れの場合は、中性洗剤を薄めた液を柔らかい布またはスポンジにしみ込ませてからよく絞って拭き取ってください。**
 - 洗剤の成分が残らないよう、十分に拭き取ってください。
 - 中性洗剤の液や水が製品にかからないようご注意ください。
 - サンドペーパー、堅いブラシ、シンナーなどの有機溶剤を使用しないでください。
- 3 キーの抜き差しや回転操作が悪くなったときは、柔らかい芯の鉛筆（B～4B）の粉や黒鉛粉、またはシリンダー専用の潤滑剤（粉末タイプ、シリコンを含まないタイプ）を使用してください。**
 - 鉛筆を使用する場合は、キーの切り込み面を鉛筆でなぞった後、キーで抜き差しを数回行ってください。
 - 鍵穴には絶対に油を差さないでください。注入直後は操作が良好でもホコリを吸着し、かえって動きを悪くします。
 - シリコンを含む潤滑剤を使用しないでください。故障の原因となります。

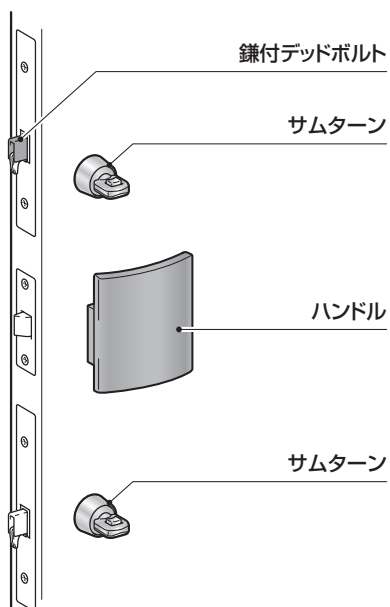


各部の名称

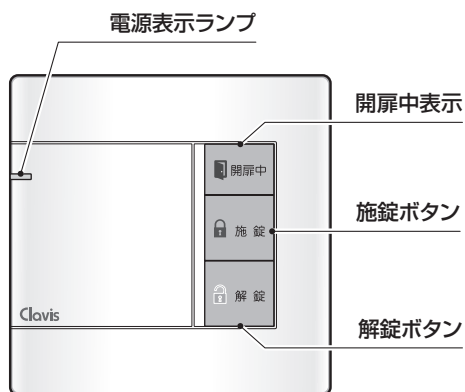
ドアまわり部品 (室外側)



ドアまわり部品 (室内側)



操作電源盤 (オプション)



認証キー

ハンズフリーキー

Tebra キー

Tebra タグ



- ハンズフリーキーとは、Tebra キー／Tebra タグの総称です。
- アナログキーを出すときは、鍵操作ボタンを押します。
- 使用後は、鍵操作ボタンを押しながらアナログキーを Tebra キー本体にもどします。
無理にもどすと破損の原因となります。

非接触キー

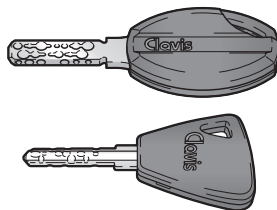
TF カード



TL カード



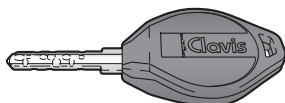
TL キー



TL タグ



TF キー



- 非接触キーとは、TF カード、TF キー、TL カード、TL キー、TL タグの総称です。

キー※



※: 電気的な操作はできません。

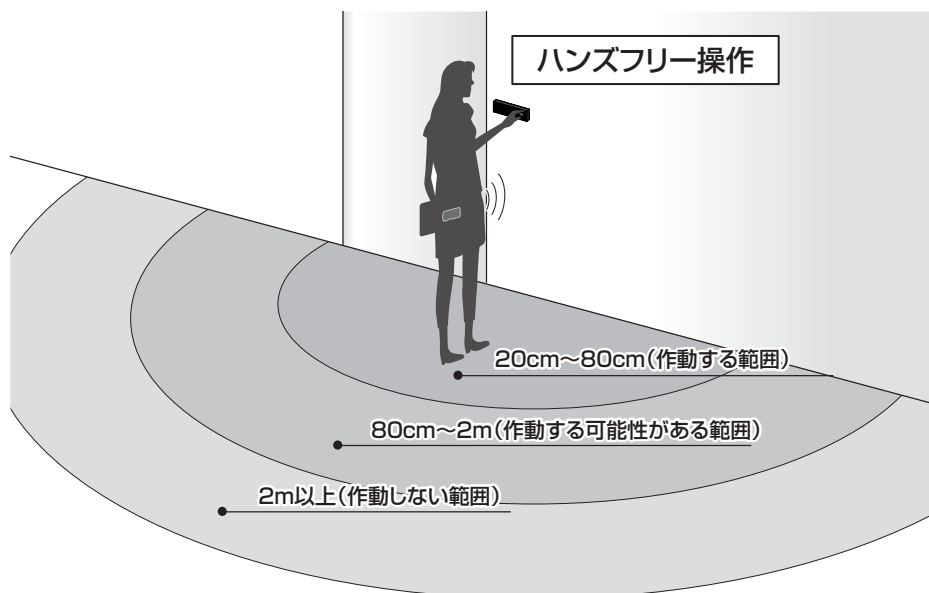
ハンズフリーキーについて

ハンズフリー操作

ハンズフリーキーがリーダの作動範囲内※にあれば、ハンズフリーキーをカバンなどに入れたままでもリーダに手かざし、またはタッチするだけで施錠／解錠ができます。

ハンズフリーキーを持ったままリーダの作動範囲内※¹に入り、リーダの「Clavis」マークを目安に手をかざす、またはタッチします。

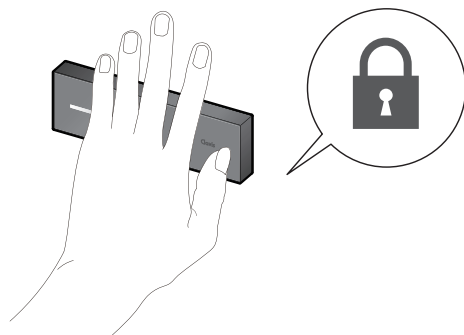
- 動作状況をランプおよびブザーでお知らせします。(9ページ)
- ハンズフリーキーの揺れを検知していないとロックを施錠／解錠することはできません。ロックの施錠／解錠ができないときは、ハンズフリーキーを少し揺らしながらロックを施錠／解錠してください。
- 手かざし操作は「Clavis」マークを目安にし、リーダから約3cm以内で手のひらをかざしてください。
- 玄関扉(リーダ)の2m以内にハンズフリーキーを保管しないでください。
- 「Clavis」マークに雨等の水滴が掛かると、誤動作する場合があります。
- 下記状況では、ハンズフリーキーを持っていると電気錠が作動する場合があります。
 - ・リーダに触れた時
 - ・リーダ付近のインターホンパネルに触れた時
 - ・手かざしを検知するセンサーの検知範囲に体が入った時(インターホンの呼出ボタンを押した時など)



※¹: 作動範囲は設置環境によって異なります

ハンズフリー操作による施錠／解錠

- 1 ハンズフリーキーを持ったままリーダの作動範囲内に入ります。(8ページ)
- 2 リーダの「Clavis」マークを目安に約3cm以内で手かざし、またはタッチします。



- 3 施錠／解錠時、以下のランプおよびブザーで動作状況をお知らせします。

動作状況	ランプ	ブザー
解錠	白色点灯→赤色点灯	ピピッ
解錠 (ハンズフリーキー電池少)	白色点灯→赤色点灯→橙色と赤色の交互点灯	ピピッ… ピーピー
施錠	白色点灯→緑色点灯	ピッ
施錠 (ハンズフリーキー電池少)	白色点灯→緑色点灯→橙色と赤色の交互点灯	ピッ… ピーピー
ハンズフリーキー 未認証	赤色点滅 (3回)	—
ハンズフリーキー 未登録	赤色点滅 (3回)	ピーピー
施錠／解錠異常	赤色点灯 (4秒)	ピー——

- 施錠／解錠異常のときは、再度、操作をやり直してください。
- 上記以外のランプ点灯／点滅およびブザーが鳴る場合もあります。
- 上下どちらかが施錠しているときは、手をかざすまたはタッチすると解錠します。
- ハンズフリーキー電池少のときは、早めにハンズフリーキーの電池交換をしてください。そのまま使い続けると、ハンズフリー操作による施錠／解錠操作ができなくなります。
※ハンズフリーキーは、非接触キーとしてもご使用になれます。ハンズフリーキーに内蔵されたICチップも登録してください。(12ページ)

非接触キーについて

非接触キーの特性

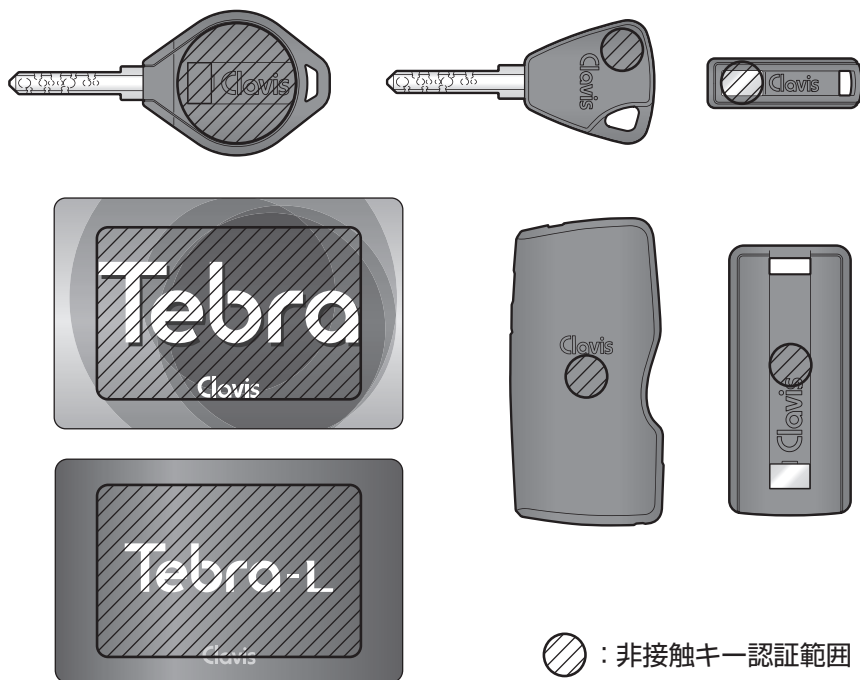
非接触キーは IC チップを内蔵しており、リーダにかざすことで IC チップの情報を認証し、施錠／解錠を行います。

以下の領域でアンテナを形成しています。

リーダ



非接触キー

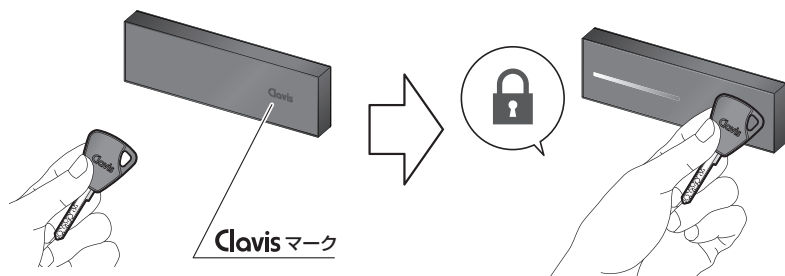
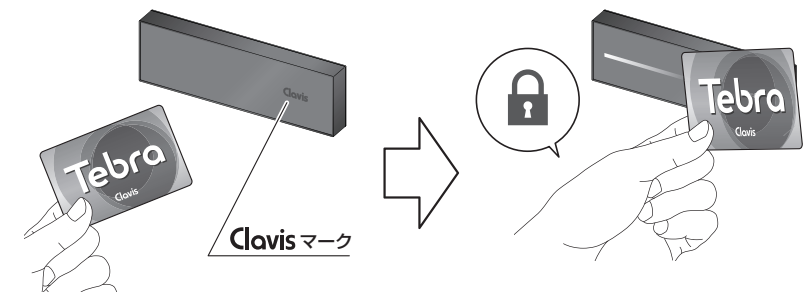


非接触キーによる施錠／解錠

1 TL キーのキーヘッド部またはカードキーの中央とリーダの「Clavis」マークを目安に合わせてかざします。(10ページ)

位置がずれ過ぎると認証されず、施錠／解錠ができません。

認証しない場合はリーダとキーの認証範囲を合わせるようにかざしてください。



2 施錠／解錠時、以下のランプおよびブザーで動作状況をお知らせします。

動作状況	リーダ部ランプ	ブザー
解錠	白色点灯→赤色点灯	ピピッ
施錠	白色点灯→緑色点灯	ピッ
非接触キー未認証	赤色点滅 (3回)	—
非接触キー未登録	赤色点滅 (3回)	ピーピー
施錠／解錠異常	赤色点灯 (4秒)	ピー---

- 施錠／解錠異常のときは、再度、操作をやり直してください。
- 認証異常のときは、一度非接触キーをリーダの「Clavis」マークから離し、再度非接触キーをリーダ部の「Clavis」マークにかざしてください。
- 上記以外のランプ点灯／点滅およびブザーが鳴る場合もあります。
- 上下どちらかが施錠しているときは、非接触キーをリーダの「Clavis」マークにかざすと解錠します。

認証キーの登録方法

この製品は、複数（※最大 16 個）の ID 媒体（認証キー）を登録できます。
新たに認証キーを追加購入した場合は、登録が必要です。
※：ただし、ハンズフリーキーおよび非接触キーは、各最大 8 個までです。

⚠ 注意

- 紛失した認証キーを使えなくする場合、認証キーの抹消を行い、速やかに再登録を行ってください。（15 ページ）
- お使いになりたい認証キーをすべて登録し直すことで、登録作業を行った認証キーだけがお使いになれます。（今までお使いの認証キーでも、再登録を行わなかった場合、すべて使えなくなります）

認証キーの ID 情報の登録

1 新規に登録したい認証キーをお手元にご用意ください。

2 ロックを解錠し、ドアを開けます。

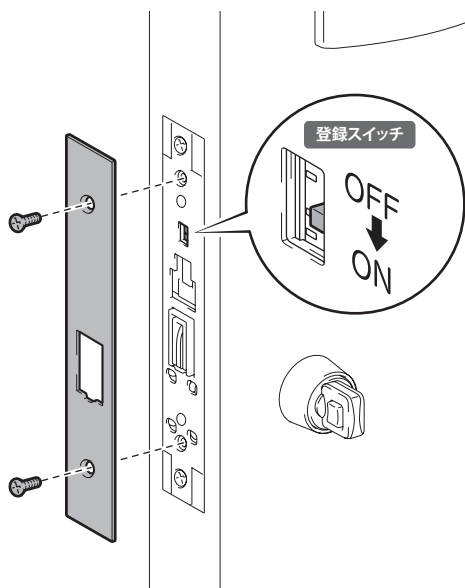
3 ドア下側のメイン電気錠のフロントプレートははずします。

プラスドライバーを使用し、ネジ（M4）ははずします。

4 メイン電気錠登録スイッチを下げ ON にし、ID 登録・抹消モードにします。

設定モード中はドアを閉めないでください。

- 設定モード中はリーダが赤色点滅し続けます。
- ドアが閉まった場合は、再度ドアを開け、メイン電気錠設定スイッチを ON → OFF → ON にしてください。



動作状況	ランプ	ブザー
メイン電気錠登録スイッチ ON / OFF	—	ピッ
ID 登録・抹消モード	赤色点滅	—

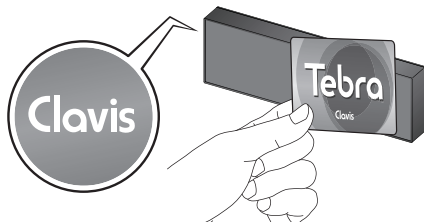
認証キーの登録方法（続き）

5 認証キーの登録をします。

非接触キー（登録可能 ID キー数：最大 8 個）

リーダの「Clavis」マークに、登録する非接触キーを 2 秒以上、かざし続けます。

“ピピッ…ピッ” とブザーが鳴るまで非接触キーを「Clavis」マークから約 1cm 以上、離さないでください。かざした非接触キーのみ登録されます。（ブザーが鳴る前に非接触キーを「Clavis」マークから離すと、認証されません）



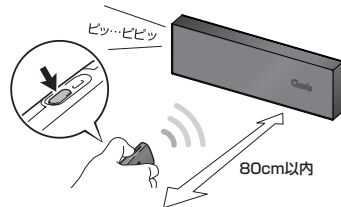
ハンズフリーキー（登録可能 ID キー数：最大 8 個）

最初にハンズフリーキーに内蔵された IC チップを、非接触キーと同様の方法（上記参照）で登録・動作確認を行ってください。

リーダの登録検知範囲内（約 80cm 以内）で、登録するハンズフリーキーの操作ボタンまたは登録用ボタンを 2 秒以上押し続けます。

“ピッ…ピッ” とブザーが鳴るまでハンズフリーキーを登録検知範囲外に出さないでください。

操作ボタンを押したハンズフリーキーのみ登録されます。（ブザーが鳴る前にハンズフリーキーを登録検知範囲外に持ち出すと、認証されません）



動作状況	ランプ	ブザー
ハンズフリーキー 認証時	緑色点灯	ピッ…ピッ
非接触キー 認証時	緑色点灯	ピピッ…ピッ
認証異常	赤色点滅（3回）	ピー---
登録件数エラー（8 個登録済）	赤色→緑色の交互点灯	ピー

6 すべての認証キーに対して 5 の操作を行います。

ロック解錠かつドアを開けた状態で、すべてのハンズフリーキーおよび非接触キーの登録を完了させてください。

7 メイン電気錠登録スイッチを OFF にし、ID 登録・抹消モードを解除します。

認証キーの登録方法（続き）

- 8 ID 情報を登録したすべての認証キーで施錠／解錠操作を行い、正常に作動することを確認します。
(ハンズフリーキー：[9ページ](#)、非接触キー：[11ページ](#))
- 9 確認後ドアを開け、ドア下側のメイン電気錠のフロントプレートを取り付けます。([12ページ](#))

エントランスも認証キーで開閉できる物件にお住まいのお客様へ

認証キーの再登録を行った場合、エントランス用の制御盤も登録をやり直す必要があります。速やかにエントランス用の制御盤への再登録を行ってください。(エントランス用の制御盤への再登録は、弊社サービス代行店までご連絡ください)

認証キーの抹消方法

認証キーの ID 情報の抹消

1 以下の物を手元にご用意ください。

認証キーの抹消後、速やかに再登録を行うため必要となります。

- 今までお使いの認証キー
- 新規で登録したい認証キー

2 ロックを解錠し、ドアを開けます。

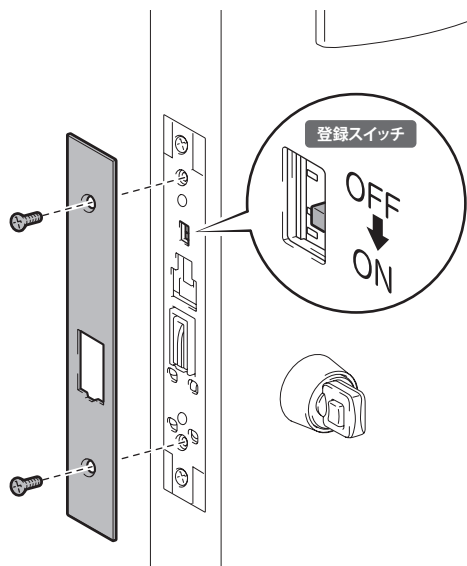
3 ドア下側のメイン電気錠のフロントプレートははずします。

プラスドライバーを使用し、ネジ (M4) ははずします。

4 メイン電気錠登録スイッチを下げ ON にし、ID 登録・抹消モードにします。

ID 登録・抹消モード中はドアを閉めないでください。

- ID 登録・抹消モード中はリーダが赤色点滅し続けます。
- ドアが閉まった場合は、再度ドアを開け、メイン電気錠登録スイッチを ON → OFF → ON にしてください。

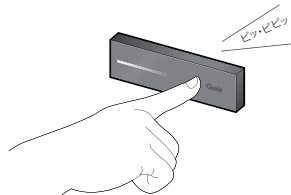


動作状況	ランプ	ブザー
メイン電気錠登録スイッチ ON / OFF	—	ピッ
ID 登録・抹消モード	赤色点滅	—

5 リーダの「Clavis」マークに 5 秒以上、タッチします。

“ピッ・ピピッ” とブザーが鳴るまでタッチし続けてください。すべての ID 情報が抹消されます。(ブザーが鳴る前にタッチ操作を中断すると、ID 情報が抹消されません)

- ID 情報が抹消された認証キーは、そのままでは使用できません。すぐに再登録を行ってください。



動作状況	ランプ	ブザー
認証全消去	緑色点灯 (1.5 秒)	ピッ・ピピッ

6 メイン電気錠登録スイッチを OFF にし、設定モードを解除します。

7 ドアを開け、ドア下側のメイン電気錠のフロントプレートを取り付けます。(上記参照)

ドアから離れた居住空間から、来客対応のドアの施錠／解錠操作や、ドアの状態を確認することができます。

操作電源盤操作時、認証キーは使いません。

操作電源盤での施錠／解錠


施錠

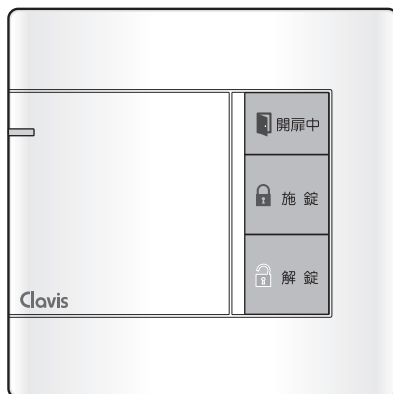
操作電源盤の「 施錠」ボタンを押すと、施錠されます。

施錠時はすべてのランプが消灯します。

解錠

操作電源盤の「 解錠」ボタンを押すと、解錠されます。






- 解錠中、「 解錠」ランプ（橙色）が点灯し続けます。
- 解錠後、約 25 秒以内にドアを開けないと自動的に施錠されます。



ドアの状態確認

以下のランプの点灯／点滅で、ドアの状態についてお知らせします。

- ドアを閉め、施錠すると消灯します。

状況	連続ランプ
解錠	「  解錠」（橙色）が点灯
片側施錠	「  解錠」（橙色）が点滅
施錠	全ランプ消灯
ドア開（解錠）	「  開扉中」（橙色）と「  解錠」（橙色）が同時に点灯
ドア開（施錠）	「  開扉中」（橙色）と「  解錠」（橙色）が交互に点滅

警備連動機能は家屋侵入を完全に防止するものではありません。
万が一の場合の保証はございませんので、ご了承ください。

本機能は、警備会社の警備システムをセット／解除する機能です。警報発報信号は、管理事務室・契約警備会社などへ発信されますが、お住まいの住居の契約状況により異なります。詳細は、建物の管理責任者・管理会社へご確認ください。



注意

- アナログキーまたはキーによる警備解除の可否につきましては、お住まいの住居の契約状況により異なるため、契約警備会社にお問い合わせください。
- 万一、ハンズフリーキーの電池切れ、紛失、非接触キーの紛失などにより警備連動機能が解除できない場合は、建物の管理責任者・管理会社または警備会社に連絡してください。

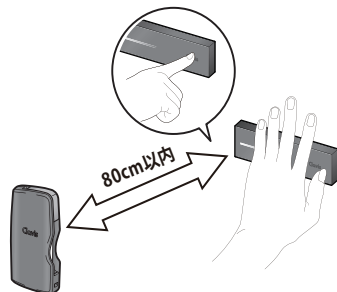
ハンズフリーキーによる警備連動機能セット／解除

セットのしかた

1 ハンズフリーキーを持っていることを確認し、ドアを閉めます。

2 リーダの「Clavis」マークを目安に、約3cm以内で2秒以上手かざし、またはタッチします。

- “ピピピッ”とブザーが鳴るまで手をかざし、またはタッチし続けてください。
- ブザーが鳴る前にタッチ操作を中断したり、ハンズフリーキーをリーダの登録検知範囲（約80cm以内）より外に持ち出さないでください。認証異常となり、警備連動機能がセットできない場合があります。
- ハンズフリーキーの電池切れ警告時、警備連動機能がセットできない場合があります。



使用方法

3 警備連動機能がセット完了すると、白色点灯→緑色点滅（3回）します。

解除のしかた

1 ハンズフリーキーを使用し、電氣的な解錠をします。
(9ページ➡)

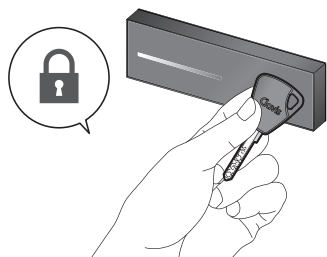
2 電氣的な解錠と同時に警備連動機能が解除されます。



非接触キーによる警備連動機能セット／解除

セットのしかた

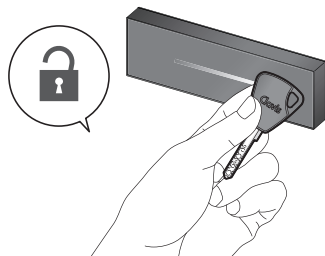
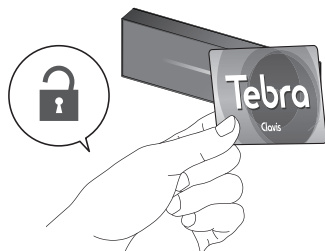
- 1 非接触キーを持っていることを確認し、ドアを閉めます。
- 2 リーダの「Clavis」マークを目安に、非接触キーを2秒以上、かざし続けます。
 - “ピピピッ” とブザーが鳴るまで非接触キーを「Clavis」マークから約1cm以上、離さないでください。
 - ブザーが鳴る前に非接触キーを「Clavis」マークから離さないでください。認証異常となり、警備連動機能がセットできない場合があります。



- 3 警備連動機能がセット完了すると、緑色3回点滅します。

解除のしかた

- 1 非接触キーを使用し、電気的な解錠をします。(11ページ)



- 2 電気的な解錠と同時に警備連動機能が解除されます。

ハンズフリーキーの電池切れ警告について

ハンズフリーキーの電池残量が少なくなると、以下のように動作確認ランプでお知らせします。電池残量無の場合、ハンズフリー認証はできませんが、内蔵されている IC チップで非接触認証ができます。

	動作状況	リーダ部ランプ	ブザー
リーダ	解錠 (ハンズフリーキー電池少)	白色点灯→赤色点灯→赤色と橙色の交互点灯	ピピッ… ピーピー
	施錠 (ハンズフリーキー電池少)	白色点灯→緑色点灯→赤色と橙色の交互点灯	ピッ… ピーピー
ハンズフリーキー	施錠／解錠 (ハンズフリーキー電池少)	ハンズフリーキーの動作確認ランプが赤色点灯	—
	施錠／解錠 (ハンズフリーキー電池残量無)	ハンズフリーキーの動作確認ランプは点灯しません	—

電池交換後は、電池切れ警告が現れないことを確認してください。



危険

電池および取りはずした部品をお子さまに触らせたり、お子さまが飲み込んだりしないよう、十分注意してください。



注意

- ご入居の際に渡されたハンズフリーキーに内蔵されている電池は、動作確認用の電池です。
はじめてお使いになる前に電池交換されることをおすすめします。
- 指定の電池（コイン型リチウム電池 CR2032）をご使用ください。
- ハンズフリーキーの電池寿命は約 2 年間（施錠／解錠を 1 回として、1 日 10 回使用した場合）ですが、電池切れにならなくても 2 年ごとに新しい電池と交換してください。
電池の液漏れや腐食により故障の原因となる場合があります。
- ハンズフリーキーは常時電波を受信しているため、全く使用しない場合でも電池を消耗します。また、強い電波を受信し続けた場合に電池を著しく消耗することがありますので、テレビ・パソコンなどの家電製品の近くに長時間放置しないでください。
- 電池交換する際は、一度ドアノブなどの金属物を触って静電気を逃がしてから行ってください。また、セーターなど静電気がたまりやすい衣類を着たまま行わないでください。
静電気を体内に帯電させた状態で電池交換を行うと、ハンズフリーキーの部品が故障するおそれがあります。
- 電池交換は電子部品保護のため、濡れた手、汚れた手で行わず、必ず Clavis ホームページの電池交換手順にしたがって行ってください。

認証キーを紛失した場合

対処のしかた



注意

防犯上、認証キーを紛失されたときは、速やかに認証キーの再登録（ID情報の抹消）を行ってください。（[12～15ページ](#)）
ID情報を抹消することで、紛失した認証キーでは入室できなくなります。

キーの追加購入について

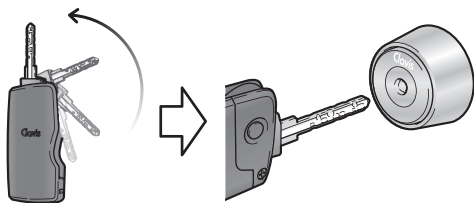
保証書に記載のサービス代行店までお問い合わせください。

電源供給されない場合

停電やブレーカーを落とした場合などで、認証キーによる電気錠での施錠／解錠ができなくなった場合、手動で施錠／解錠してください。

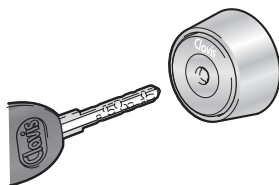
室外側（Tebra キー）

Tebra キーのアナログキー（[7ページ](#)）をシリンダーに差し込みます。



室外側（その他の認証キー）

キーをシリンダーに差し込みます。



電気錠動作中に停電などにより電源が切れた場合

キーまたはサムターンで、解錠操作側へ回せるところまで回すと、解錠できます。（少し回転が重くなっている場合がありますが、必ず解錠操作側へ回しきってください）

- 停電のタイミングにより、1ロックのみの施錠／解錠になることがあります。
- 停電などから復旧後、認証キーを使用すると、通常の操作が可能となります。

故障かな？とお考えになる前に

表の内容を確認しても正常に作動しない場合は、弊社サービス代行店にご連絡ください。

全体項目

状態	考えられる原因	処置	参照ページ
全く作動しない。 リーダおよび操作電源盤のランプが点灯しない。	停電などによりシステムに電源が供給されていない。	ブレーカーが落ちていないか確認してください。 他の電気機器などの作動も確認してください。	—
施錠／解錠ができない。	ドアが完全に閉まりきっていない。	ドアを閉めてください。	—
	室内換気を行っている。	室内の圧力差による現象です。(故障ではありません)	3
施錠／解錠時、リーダが赤色点灯(4秒)し、“ピー”とブザー(3秒)が鳴り続けた。	ドアの施錠／解錠異常です。	ドアがしっかり閉まっていることを確認し、再度認証キーを使用し、施錠／解錠確認をしてください。 (サムターンを使用しても施錠／解錠できない場合は、ドア全体の調整が必要となりますので、速やかに建築物の管理責任者・管理会社、施工業者または建具メーカーに連絡してください)	—
連動施錠されない。	停電または下側(メイン電気錠)のロックを手動施錠した。	停電時以外は認証キーで施錠するか、上側(サブ電気錠)のロックを手動施錠してください。 (停電時は連動施錠されません)	4

故障かな？とお考えになる前に（続き）

ハンズフリーキー

状態	考えられる原因	処置	参照ページ	
リーダに手かざし、またはタッチ操作しても作動しない。	ハンズフリーキーが作動範囲にない。	ハンズフリーキーを持っているか確認してください。	8	
	ハンズフリーキーに電池が入っていない	電池を入れてください。(リチウム電池 CR2032)	※1	
	ハンズフリーキーが6秒以上、静止している。	ハンズフリーキーを揺らしながら操作してください。	4	
	ハンズフリーキーの電池残量が少ない。(電池残量が少ないときは、ランプおよびブザーでお知らせします 19ページ)	新しい電池に交換してください。(リチウム電池 CR2032)		※1
		アナログキー・非接触キーで施錠／解錠してください。		7 11
	複数のハンズフリーキーを作動範囲内で同時に使用している。	ハンズフリーキーは1つだけ使用してください。		2
ハンズフリーキーが登録されていない。	ハンズフリーキーを登録してください。(ID情報を抹消した場合、すべてのハンズフリーキーの再登録が必要です)		12 13	
ハンズフリーキーのID情報の抹消／再登録ができない。	ID登録・抹消モードになっていない。	メイン電気錠登録スイッチをONにしてください。	15	
ハンズフリーキーのID情報の抹消ができない。	リーダの「Clavis」マークを5秒以上、タッチしていない。	“ピッ・ピッ”とブザーが鳴るまでボタンを押し続けてください。	15	
ハンズフリーキーが登録ができない。	リーダの登録検知範囲内(約80cm以内)でハンズフリーキーの操作ボタンまたは登録用ボタンを2秒以上、長押ししていない。	リーダの登録検知範囲内で“ピッ…ピッ”とブザーが鳴るまでボタンを押し続けてください。	13	

※1：Tebra キーの電池交換手順は、Clavis ホームページをご確認ください。

故障かな？とお考えになる前に（続き）

非接触キー

状態	考えられる原因	処置	参照ページ
施錠／解錠ができない。	非接触キーをリーダに正しくかざしていない	非接触キーの認証範囲とリーダの「Clavis」マークを目安に合わせてかざします。	10
	複数の認証キーを同時に使用している。	認証キーは1つだけ使用してください。	2
	非接触キーが登録されていない。	非接触キーを登録してください。(ID情報を抹消した場合、すべての非接触キーの再登録が必要です)	13 14
非接触キーのID情報の抹消／再登録ができない。	ID登録・抹消モードになっていない。	メイン電気錠登録スイッチをONにしてください。	12
非接触キーのID情報の抹消ができない。	リーダの「Clavis」マークを5秒以上、タッチしていない。	“ピッ・ピッ”とブザーが鳴るまでボタンを押し続けてください。	15
非接触キーが登録ができない。	リーダの「Clavis」マークに、非接触キーを2秒以上、かざし続けていない。(約1cm以内)	“ピピッ…ピッ”とブザーが鳴るまで非接触キーをかざし続けてください。	13

認証キー共通

状態	考えられる原因	処置	参照ページ
認証キーが登録ができない。	最大登録数（それぞれ8個）を超えている。	—	13
施錠／解錠ができない。	ID登録・抹消モードになっている。	ID登録・抹消モードを終了してください。	13

故障かな？とお考えになる前に（続き）

警備連動機能

状態	考えられる原因	処置	参照ページ
ハンズフリーキーで警備連動機能がセットできない。	リーダーの「Clavis」マークを2秒以上、手かざしまたはタッチしていない。	“ピピピッ”とブザーが鳴るまでボタンを押し続けてください。	18
	リーダーの登録検知範囲（約80cm以内）外にハンズフリーキーを持ち出した。	リーダーの登録検知範囲内で“ピピピッ”とブザーが鳴るまでボタンを押し続けてください。	17
	ハンズフリーキーの電池残量が少ない。	新しい電池に交換してください。（リチウム電池CR2032）	※1
非接触キーで警備連動機能がセットできない。	リーダーの「Clavis」マークに、非接触キーを2秒以上、かざし続けていない。（約1cm以内）	“ピピピッ”とブザーが鳴るまで非接触キーをかざし続けてください。	18
警備連動機能が解除できない。	アナログキー／キーで解錠した。※2	認証キーを使用し、電氣的な解錠をしてください。	18
警備会社に通報された。	アナログキー／キーで解錠し、そのままドアを開けた。※2	認証キーで解錠し直し、建物の管理責任者・管理会社または警備会社に連絡してください。	17

※1：Tebra キーの電池交換手順は、Clavis ホームページをご確認ください。

※2：アナログキー／キーによる警備解除の可否については、お住まいの住居の契約状況によって異なります。

ご使用になる前に警備会社等にお問い合わせください。

■ リーダ本体仕様

送信周波数	ハンズフリー	125.0kHz
	非接触	13.56MHz
動作電圧	AC100V 50 / 60Hz	
消費電力	最大 10W	
待機電力	4.5W	
登録可能 ID キー数	最大 16 個※ 3	

※ 3：ただしハンズフリーキー／非接触キーは、それぞれ最大 8 個までです。

■ ハンズフリーキーの仕様

使用電池	CR2032 コイン型リチウム電池 (DC3V)
送信周波数	315MHz
動作電流	最大 14mA
電池寿命	約 2 年 (施錠／解錠を 1 回として 1 日 10 回使用した場合)

■ 交信性能※ 2

ハンズフリー交信範囲	約 80cm
非接触交信範囲	約 1cm

※ 4：使用環境により交信性能は変動します。

■ 使用環境※ 3

使用温度範囲	- 10℃～ 50℃
使用湿度範囲	30～ 90% RH (結露／氷結無きこと)

※ 5：電池の種類により異なります。

保証書

この度は当社製品をお買い上げ頂きありがとうございます。本保証書は、品質保証事項に記載の規定によります。保証期間内に故障した場合は下記取扱店に修理をご依頼下さい。尚、修理の際には本書をご提示下さい。

品質保証事項

- 保証内容：通常取り扱いによって生じる品質不良、性能及び機能の低下によるもので、かつ当社が認定したもの
- 保証期間：製品のお買い上げ日より2年間
 - お買い上げ日を本書にご記入ください。
 - サービス代行店からのお買い上げ日が特定できる書類などを大切に保管してください。サービス代行店からのお買い上げ日が特定できる書類が無い場合は、勝手ではありますが、当社商品に記載している年月を保証開始時期の目安とさせていただきます。
- 保証適用地域：保証運用範囲地域の限界は、下記サービス代行店の行動範囲内(100km以内)とします。
この範囲を超える遠隔地及び離島・山頂等の地域への出張により修理・交換を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 免責事項：原因が次の様な場合は保証期間内であっても有償修理となります。
 - 本書の提示がない場合
 - ご使用開始以前の保管・輸送・設置配線工事に起因する故障、および損傷
 - 他の機器からの異常電圧・電流を受けたことによる故障、および損傷
 - 電池の入れ間違い等ご使用上の間違いや破損
 - 電池の交換
 - コピーしたキーに起因する不具合
 - 使用者もしくは第三者の誤り、または不当な修理や改造によるもの
 - 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合または使用目的と異なる使用方法をされた場合の不具合
 - 錠以外の商品または部品(扉、丁番、ドアクローザなど)に起因する錠の不具合
 - 商品または部品の経年変化(使用に伴う消耗、磨耗など)や経年劣化(樹脂部品の変質、変色など)またはこれらに伴うさび、その他の不具合
 - 鍵穴への異物(例えば、針金、マッチ棒など)挿入、注油、昆虫の侵入、ほこりによる不具合
 - 商品周辺の自然環境、住環境などに起因する腐食またはその他の不具合(例えば塩害による腐食、大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など)
 - 天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、津波、噴火、洪水、地盤沈下、火災など)に起因する不具合
 - 犯罪などの不法な行為(ピッキング、パールの道具によるこじ開けなど)に起因する破損や不具合
- 電気錠耐用年数：引き渡し後あるいは購入後より7年間
 - 耐用年数とは、製品の基本性能を保守・点検により維持できる取り替えまでの目安の期間として日本ロック工業会が定めたもので、製品の保証(無償修理)期間とは異なります。
 - お買い上げ日を本書にご記入の上、領収書などお買い上げ日分かる書類を保管ください

上記品質保証は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan

消耗品(電池等)は保証対象外となります。

- ※ 本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、取扱店へお問合せ下さい。
- ※ 本書は再発行致しませんので、全てご記入のうえ大切に保管して下さい。

サービス代行店名・住所・電話番号	お買い上げ日 年 月 日
	保証期間 お買い上げ日より2年間

株式会社シブタニ クラビス事業部

Clavis URL: <https://www.clavis.jp> **株式会社ラブタニ**

本サービスの最新情報は弊社 Clavis ホームページでご確認ください。



HPはこちら